



vol.35
2014.10.1発行

Digest

みんな元気に「輝いて生きる」

それが私達の
願いです。

名張育成会の「今！」がわかる

MiRAi と MiRAi report

そして 輪 プログ

「MiRAi」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。「MiRAiレポート」は、各施設からのスタッフ便り。「Café 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUブログMIRAI 検索

MIRAIレポート 名張 検索

YOUブログRIN 検索

発行：名張育成会MIRAIプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者：市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者：男武正基(社会福祉法人名張育成会) 編集長：佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任：新井知子(株式会社サンエイ) 題字：千秋育子

毎日が発見！～入職一年目の職員の思い～

名張育成会では毎年たくさんの職員が入職する。今年度4月にも新たに23名の新人が生まれた。今回はその中からそれぞれの事業所で働く3人の職員に今の思いを語ってもらった。

西山 まずは自己紹介からですね。私は「ワークプレイス菜」で就労支援の仕事をしています。

竹内 就労支援というと？

西山 就職に向けての準備です。菜の中の作業所でお菓子の包装をしてもらったり、企業の中にある作業所で一緒に作業をしたり、仕事をする上でのルールなどを身につけてもらうのが目的です。

竹内 私は児童発達支援センターどれみで言語聴覚士をしています。言語聴覚士というのは「言葉」「聞こえ」「食事」が専門分野で楽しく遊びながらその子にあった訓練などを行っています。

中井 僕は入所施設成峯で生活支援員をしています。入所者の更衣、食事、排せつ、入浴、余暇活動の支援をしています。

西山 入所施設ってというと夜勤は大変？

中井 それが、慣れるまでは大変でしたが、シフトが上手く組まれているので今では夜勤があるほうが楽になってきました。

西山・竹内 へえ～

西山 仕事はどうですか？何ヶ月か働いてみて。

中井 私は一日の流れがだいぶ分かってきて少し余裕ができてきました。最初は常に緊張でしたが、最近は余裕を持って利用者さんと接することが出来るようになったと思います。



中井伸治さん
成峯 生活支援員

竹内 私は前職が保育所で、女性だけの職場特有のびりっとした空気があったんですが、今の職場も女性がほとんどなのに全く空気が違うのに驚きました。笑いが絶えなくていつもわきあいあいとしています。

西山 私は児童の支援が希望だったんですが、菜に配属になって最初「就労支援って何するの？」ってところから始まりました。毎日自分も利用者さんと同じ作業をして、その人にあった説明をできるように考えますが、改めて説明することの難しさを感じています。

ところで、実際に福祉の現場に携わってみて改めて感じたことありますか？



竹内由美さん
児童発達支援センターどれみ 言語聴覚士

竹内 子供の支援は子供だけの支援だけではないということを実感しています。もちろん実習の時からわかってはいたことなんですが、やはり保護者への支援、祖父母、保育所学校地域など、その子を取り巻く環境に対する配慮が必要なことは実際現場に入ってその重要性をつくづく感じます。

中井 入所施設って隔離されてるイメージとか、暗い所っていう印象があると思うんですが、実際現場にいとみなさん明るく生活を楽しんでいる様子が分かって、もっと一般の方にもそのことを知っても



西山祥史(よしふみ)さん
ワークプレイス菜 生活支援員

raitaiなど思うようになりました。

西山 それは私も同じですね。私は前職からこちらに移るときに「福祉関係の仕事って介護の仕事？」と色んな人に言われました。でも福祉と言っても色んな分野があるし、利用者さんも一人一人みなさん違う。そういう理解をしてもらえるために自分は何ができるだろうと考えるようになりました。

彼らが口を揃えたのが「利用者を取り巻く環境の大切さ」。ひいては「地域の理解を深めたい」ということだった。彼らの道のりはまだ始まったばかり。だからこそ今この時に感じたフレッシュな思いは、今後彼らの軸になっていくのではないかと感じた。彼らが地域理解を深めていく中心的役割として、この先活躍をしてくれることを期待したい。



違う事業所で異なる仕事をする同期の三人。それぞれの話に興味深げに聞き入っていた

(文) 田口知恵子
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。

の一まらいふ暖

「退院支援研修会」について

先日、伊賀圏障がい福祉連絡協議会の一員として「退院支援研修会」を開催しました。

テーマは「ピアサポーターの役割と活動について」…ピアサポーターとは障がいや病気等を持つ本人が、同じような悩みをもった人達の相談にのり、より豊かな生活が送れるように手助けをしていく仲間のこと。今回は上野病院スタッフや地域支援者を対象に、ピアサポーターについての基礎知識、これまでの活動内容、今後期待されている役割の説明ほか、実際に活動しているピアサポーターの皆さんにもそれぞれの思いを話して頂きました。

心の病などで長い間入院していると、退院し地域生活に戻る事への不安が大きくなり、なかなか退院への一歩が踏み出せないことがあります。当事者の目線から、退院に対する相談にのったり、退院してよかったことや地域生活の楽しみを入院患者の皆さんに伝えて頂くことで、退院への不安を軽減させ退院支援が円滑に進むことが期待されています。

今回、福祉関係者だけでなく病院スタッフの皆さまにもピアサポーターについて知って頂くことで、多くの方の退院支援に繋げていきたいと期待しています。



〈連絡先〉名張市西原町2625
TEL:0595-66-5633 FAX:0595-65-8210
Email:dan@n-ikuseien.jp
★MIRAIレポートブログの「相談支援グループ」をクリック下さい。

くらしサポート ゆっくり

もう一人の「うさびー」さん

いつも笑顔の彼女(利用者さん)が最近、仕事を休んでいるという話を聞いたので、久しぶりにホームを訪問すると…以前と全く表情が変わり、なぜか、室内で鞆を持って歩いていました。よく見ると…何やら管のようなものが出ています。尿が出ていないことによって腎臓が腫れている状態で、管を入れて尿を出しているのだそうです。手に持っている鞆は、尿を溜めている袋だったのです。「尿が溜まったから、今から捨てましょうね」そう言ってワーカーさんが管をはずし、尿を捨てます。尿の目盛を確かめ、毎日細かく記録しています。また、キッチンの流し台には、袋を下げられるフックが取り付けられ、食器洗いができるように工夫されていました。

ホームでのワーカーさんのいろんな心配り。そんなワーカーさんの顔を触り、ニコニコと微笑む「うさびー」さん。「ありがとう～ 幸せ～」と嬉しそううさびーさん。病気は辛いものだけど、ワーカーさんがいつもそばにいてくれて幸せのようでした。どうぞお大事に、そして以前のようにお元気になられることを祈っています。



〈連絡先〉名張市夏見4-1
TEL:0595-62-0305
E-mail:yukkuru@n-ikuseien.jp
★MIRAIレポートブログの「ケアホーム支援グループ」をクリック下さい。

MIRAI report

ブログより

名張育成園の活動、ひとつずつ!

名張育成園では、赤ちゃんからおじいさん、おばあさんまでが、毎日さまざまな活動しながら地域の中で暮らしています。そのような方の暮らしぶりやスタッフの活動などを紹介するブログ「MIRAI-report」から、選り抜きの話題をピックアップしました。ほんの少しからでも福祉に親しみを持っていただけるよう、思いを込めてご紹介します。

<http://www.you-blog.jp/blog/miraireport/>

ホームヘルプサービス〈ゆーゆ〉

私は名ドラマー!



音楽療法として、先生の伴奏に合わせてリズムをとっています。「タッタカ タッタカ タン タン…」心地よいドラムの音が、ほら、聞こえてくるでしょう♪

今はピアノと二重奏だけど、いつの日かフルートと三重奏で演奏できるといいねと、リラックスした表情で素敵な時間を過ごされていました。

ゆーゆでは、このような支援も行っているんですよ!

〈連絡先〉名張市西原町字長尾2625
TEL/FAX:0595-65-0874
Email:yuyu@n-ikuseien.jp
★MIRAIレポートブログの「ホームヘルプ支援グループ」をクリック下さい。

児童発達支援センター〈どれみ〉

日々の療育☆



この写真の物は何に使うものだと思いますか?ヒントは子どもたちの遊び道具です。五角形の箱のような形をしていますね…中に何か入れるんでしょうか…?? これは「ボールプール」なんです。子どもたちはこの箱の中を覗き込み、ボールプールだと分かると、周りに設定している物を使って中に入り、ボールの中に埋もれたり、ボールプールの中に飛び込んでみたり、ボールプールの淵をよじ登って見たりと、子どもたちそれぞれが思い思いに遊んでくれていました。ボールプールが一つ増えたことで、新たな遊びが生まれ、更に楽しい経験が子どもたちの中に積み重なっていけば良いと思います。職員も子どもたちと共に遊びを楽しみ、一人一人の姿からどんな遊びが今、子どもたちにとって楽しいのかを考えながら、毎日の療育に臨んでいます。

〈連絡先〉名張市百合が丘西5-25 名張市子どもセンター内4~5階
TEL 0595-44-6211,0595-44-6166(相談)
FAX 0595-44-6233
Mail doremi@n-ikuseien.jp
★MIRAIレポートブログの「子ども支援グループ」をクリック下さい。